

各 位

東京都中央区日本橋二丁目 15 番 3 号
株 式 会 社 エ ス プ ー ル
代表取締役会長兼社長 浦上 壮平
(コード番号:2471)
問 い 合 せ 先 :
取締役管理本部担当 佐藤 英朗
電 話 番 号 03 (3517) 6633 (代表)

平成 27 年 11 月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異
及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 1 月 14 日に公表いたしました平成 27 年 11 月期第 2 四半期連結累計期間(平成 26 年 12 月 1 日～平成 27 年 5 月 31 日)の連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また、最近の業績動向及び今後の見通しを踏まえ、同じく平成 27 年 1 月 14 日に公表いたしました通期(平成 26 年 12 月 1 日～平成 27 年 11 月 30 日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 11 月期第 2 四半期連結累計期間(平成 26 年 12 月 1 日～平成 27 年 5 月 31 日)の業績予想と実績値との差異

(単位:百万円/未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	3,488	91	85	70	23 円 31 銭
実績値 (B)	3,438	31	27	△14	△4 円 97 銭
増減額 (B - A)	△49	△59	△57	△84	—
増減率 (%)	△1.4	△65.3	△67.7	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 26 年 11 月期第2四半期)	3,237	122	118	99	36 円 75 銭

2. 差異の理由

売上高につきましては、人材ソリューション事業においてはコールセンター業務が、また、ビジネスソリューション事業においてはロジスティクスアウトソーシングサービスがともに好調に推移しました。しかし、ビジネスソリューション事業の障がい者雇用支援事業において計画していた新農園の開設が遅れたため、予想を若干下回る着地となりました。

一方、損益面につきましては、前述の障がい者雇用支援事業の新農園の開設遅れによる売上高未達に加え、平成 27 年 7 月に業務を開始するスマートメーター設置業務に係る先行支出があったため、営業利益及び経常利益が前回予想を下回ることとなりました。また、これらの要因に加え、本社移転に係る特別損失が発生したため、四半期純損失を計上する結果となりました。

3. 平成 27 年 11 月期の通期連結業績予想の修正(平成 26 年 12 月 1 日～平成 27 年 11 月 30 日)

(単位:百万円/未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	7,300	226	214	181	60 円 37 銭
今回修正予想 (B)	7,518	150	140	66	22 円 21 銭
増減額 (B - A)	218	△75	△73	△114	—
増減率 (%)	3.0	△33.5	△34.5	△63.2	—
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 11 月期)	6,604	207	191	165	58 円 89 銭

4. 修正の理由

売上高につきましては、前述のスマートメーター設置業務を平成 27 年 7 月より開始するため、前回予想を上回る見込みであります。

一方、損益面につきましては、スマートメーター設置業務の本格的な利益貢献は来期以降となっており、当期については、業務開始前に発生する人件費、採用費、教育訓練費、拠点整備に係る初期費用等の先行支出を当期末までの業務利益では補えない見込みであります。また、スマートメーター設置業務以外の新事業につきましても、計画を前倒して人員増強等の先行投資を行う予定であります。以上の理由及び本社移転に係る特別損失により、営業利益以下の損益につきましては、前回予想を下回る見込みとなりました。

以上

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることにご留意ください。